

[学会・シンポジウム]

1. 竹元万壽美:酵素法によるテアフラビンの合成

第 11 回生体触媒化学シンポジウム (鳥取)、要旨集、p26-27、2008 年 1 月 25 日

2. 近藤 光、脇本敏幸、末永聖武、石田均司、辻 邦郎、糠谷東雄：緑イ貝中の抗炎症活性成分の探索

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.77、2008 年 3 月 26 日

3. 竹元万壽美：酵素法によるテアフラビンのプロセス合成

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.151、2008 年 3 月 26 日

4. 酒井佑宜、池内和忠、富成祐介、福山 透、古田 巧、菅 敏幸：ケラマフィジン B の合成研究

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.15、2008 年 3 月 27 日

5. 藤田悠介、小泉靖明、小林英樹、福山 透、古田 巧、菅 敏幸：デカルシンビンの合成研究

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.15、2008 年 3 月 27 日

6. 相原義之、櫻田明日香、古田 巧、菅 敏幸：テアフラビン類の合成研究

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.18、2008 年 3 月 27 日

7. 廣岡康男、菅田裕介、新田真理子、村上宏起、古田 巧、鈴木 隆、菅 敏幸：プローブ分子を目指したカテキン合成法の開発

日本薬学会年会 128 年会 (横浜)、講演要旨集 (2)、p.18、2008 年 3 月 27 日

8. 伊藤 剛、中山美穂、稲井 誠、古田 巧、菅 敏幸：効率的なフラボン誘導体の合成
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.20、2008 年 3 月 27 日
9. 原下 誠、北村佑樹、赤星早江子、古田 巧、菅 敏幸：V-ATPase 阻害剤の合成
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.20、2008 年 3 月 27 日
10. 北村祐樹、古川誠二、古田 巧、菅 敏幸：タンデム型カルバゾール形成反応の開発と応用
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.20、2008 年 3 月 27 日
11. 稲井 誠、後藤敏裕、古田 巧、菅 敏幸：Myriocin の合成研究
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.28、2008 年 3 月 27 日
12. 安田吉徳、徳本英史、廣岡康男、古田 巧、菅 敏幸：固相合成による簡便なビオチンタグの導入
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.35、2008 年 3 月 27 日
13. 小貫 仁、伊藤舞衣、望月雅充、古田 巧、菅 敏幸：機能性リン脂質の固相合成法の開発
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、講演要旨集（2）、p.35、2008 年 3 月 27 日
14. 菅 敏幸：ヘテロ環構築を鍵とする天然物合成
日本薬学会年会 128 年会（横浜）、一般シンポジウム、招待講演、2008 年 3 月 28 日
15. 脇本敏幸、近藤 光、末永聖武、石田均司、辻 邦郎、糠谷東雄：緑イ貝中の抗炎症活性物質の探索

平成 20 年度日本水産学会春季大会（静岡）、講演要旨集、p.84、2008 年 3 月 30 日

16. 小泉靖明、小林英樹、古田 巧、福山 透、菅 敏幸：(-)-セロトベニンの全合成～セロトベニンがラセミ体として単離された謎の解明を目指して～

モレキュラーキラリティー 2008（横浜）、講演要旨集、p.173、2008 年 5 月 23 日

17. 脇本敏幸、諏訪芳秀、石黒正路、糠谷東雄、菅 敏幸：GPCR を標的とする Hordatine A および Aperiidine の合成研究

第 6 回次世代を担う有機化学シンポジウム（東京）、要旨集、p.6、2008 年 5 月 30 日

18. 藤田悠介、小泉靖明、古田 巧、菅 敏幸、小林英樹、福山 透：デカルシビンの合成研究

第 7 回新規素材探索研究会（横浜）、2008 年 6 月 6 日

19. 岡崎優子、磯部洋一郎、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：C-H 挿入反応を鍵とするアクロメリン酸類の合成研究

第 7 回新規素材探索研究会（横浜）、2008 年 6 月 6 日

20. 酒井佑宜、池内和忠、冨成祐介、福山 透、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：ケラマフイジン B の合成研究

第 7 回新規素材探索研究会（横浜）、2008 年 6 月 6 日

21. 脇本敏幸、糠谷東雄、菅 敏幸、諏訪芳秀、石黒正路：ビール由来のムスカリン受容体結合活性物質、Hordatine A および Aperiidine の合成研究

第 7 回新規素材探索研究会（横浜）、2008 年 6 月 6 日

22. 新田真理子、廣岡康男、菅田裕介、古田 巧、菅 敏幸：プローブ分子を志向したカテキン合成法の開発

第 92 回有機合成シンポジウム（東京）、講演要旨集、p.61、2008 年 6 月 12 日

23. 菅 敏幸：ヘテロ環構築を鍵とする生理活性天然物の合成

平成 20 年度 前期（春期）有機合成化学講習会（東京）、招待講演、2008 年 6 月 19 日

24. Takumi Furuta, Jyunya Yamamoto, Yuki Kitamura, Ayano Hashimoto, Isao Azumaya, Toshiyuki Kan, Takeo Kawabata: Convenient synthesis of axially chiral biaryls via a Pd-catalyzed domino coupling reaction

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PR-73、2008 年 6 月 24 日

25. Yoichi Kita, Tatsuya Toma, Toshiyuki Kan, Tohru Fukuyama: Synthetic study of manzamine A

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PN-43、2008 年 6 月 24 日

26. Yasuaki Koizumi, Hideki Kobayashi, Takumi Furuta, Tohru Fukuyama, Toshiyuki Kan: Total synthesis of (-)-serotobenine

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PN-60、2008 年 6 月 24 日

27. Makoto Inai, Toshihiro Goto, Takumi Furuta, Toshiyuki Kan: Total synthesis of Myriocin

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PN-61、2008 年 6 月 24 日

28. Yasuo Hirooka, Mariko Nitta, Takumi Furuta, Toshiyuki Kan: Synthetic investigation of gallo catechin gallate by enantioselective construction of optically active dihydrobenzopyran ring via 6-endo cyclization

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PN-67、2008年6月24日

29. Yuuki Sakai, Kazutada Ikeuchi, Yusuke Tominari, Tohru Fukuyama, Toshiyuki Wakimoto, Takumi Furuta, Toshiyuki Kan: Synthetic studies of keramaphidin B

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PN-96、2008年6月24日

30. Satoshi Yokoshima, Hifumi Koizumi, Ivan Krasimirov Zahariev, Tohru Takebe, Mai Takase, Tohru Fukuyama, Yasuko Takahashi, Yasuaki Sugimoto, Takeshi Iwatsubo, Taisuke Tomita, Haruhiko Fuwa, Akane Kaneko, Makoto Sasaki, Hideaki Natsugari, Toshiyuki Kan: Novel γ -secretase inhibitors discovered by library screening of in-house synthetic natural product intermediates

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PD-9、2008年6月24日

31. Yuzo Abe, Tohru Takebe, Yoichi Kita, Naoto Watanabe, Taisuke Tomita, Takeshi Iwatsubo, Toshiyuki Kan, Satoshi Yokoshima, Tohru Fukuyama: Development of a novel cleavable linker and its application to photoaffinity probes for γ -secretase

17th International Conference on Organic Synthesis (ICOS-17) (Deajeon)

講演要旨集、PD-24、2008年6月24日

32. 池内和忠、酒井佑宜、富成祐介、福山 透、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：
Keramaphidine B の合成研究

第54回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.26、2008年7月5日

33. 岡崎優子、磯部洋一郎、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：C-H挿入反応を鍵とするアクロメリン酸類の合成研究

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.26、2008 年 7 月 5 日

34. 荻山真美、伊藤舞衣、小貫 仁、古田 巧、菅 敏幸：Tail group に機能性官能基を有する人工リン脂質の簡便な合成

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.27、2008 年 7 月 5 日

35. 清水啓太、小泉靖明、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：アンセリンの合成研究

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.27、2008 年 7 月 5 日

36. 吉田篤史、相原義之、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：メチル化カテキンの合成

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.28、2008 年 7 月 5 日

37. 宮田 翔、脇本敏幸、諏訪芳秀、糠谷東雄、菅 敏幸：アペリジンの合成研究

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.28、2008 年 7 月 5 日

38. 伊藤 剛、中山美穂、稲井 誠、古田 巧、菅 敏幸：効率的なフラボン誘導体の合成研究

第 54 回日本薬学会東海支部総会・大会（名古屋）、講演要旨集、p.29、2008 年 7 月 5 日

39. 池内和忠、酒井佑宜、富成祐介、福山 透、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：Keramaphidine B の合成研究

第 43 回天然物化学談話会（大阪）、講演要旨集、p.134、2008 年 7 月 11 日

40. 荻山真美、伊藤舞衣、小貫 仁、望月雅充、古田 巧、菅 敏幸：機能性人工リン脂質の効率的合成法の開発

第 43 回天然物化学談話会（大阪）、講演要旨集、p.137、2008 年 7 月 11 日

41. 脇本敏幸、糠谷東雄、菅 敏幸、諏訪芳秀、石黒正路：ビール由来のムスカリン受容体結合活性物質、Hordatine A および Aperiidine の合成研究
第 43 回天然物化学談話会（大阪）、講演要旨集、p.138、2008 年 7 月 11 日
42. 菅 敏幸、竹元万壽美、古田 巧：医薬品のリード探索を指向した生理活性天然物の合成
静岡県立大学 2007 US フォーラム、講演要旨集、p.83、2008 年 8 月 2 日
43. 竹元万壽美：紅茶 2 次ポリフェノール高含有新規紅茶飲料の開発
静岡県立大学 2007 US フォーラム、講演要旨集、p.97、2008 年 8 月 2 日
44. 菅 敏幸：プローブ分子を指向したカテキン類の合成研究
第 5 回日本カテキン学会（東京）、講演要旨集、p.32、2008 年 8 月 22 日
45. 中山美穂、鈴木宏隆、多治見寛子、伊藤 剛、稲井 誠、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：新規フラボノイド合成法の開発に基づく Chafuroside の効率的全合成
第 50 回天然有機化合物討論会（福岡）、講演要旨集、p.451、2008 年 9 月 30 日
46. 山本純也、北村祐樹、橋本理乃、古田 巧、菅 敏幸、川端猛夫：Pd 触媒ドミノ型反応を利用した軸性不斉化合物の簡便合成
第 58 回日本薬学会近畿支部総会・大会（神戸）、講演要旨集、p.48、2008 年 10 月 25 日
47. 磯部洋一郎、岡崎優子、東 匠、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：C-H 挿入反応を鍵とするアクロメリン酸類の合成研究
第 34 回反応と合成の進歩シンポジウム（京都）、講演要旨集、p.170、2008 年 11 月 4 日
48. 廣岡康男、浅川倫宏、川本輪一郎、小泉靖明、古田 巧、脇本敏幸、福山 透、菅 敏幸：Altemicidin の合成研究

第 39 回中化連秋季大会（名古屋）、講演要旨集、p.122、2008 年 11 月 9 日

49. 菅 敏幸：C-H 挿入反応を鍵とする生理活性天然物の合成研究

第 39 回中化連秋季大会（名古屋）、講演要旨集、p.129、2008 年 11 月 9 日

50. 稲井 誠、後藤敏裕、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：Myriocin の全合成

第 39 回中化連秋季大会（名古屋）、講演要旨集、p.129、2008 年 11 月 9 日

51. 吉田篤史、菅田裕介、新田真理子、廣岡康男、古田 巧、脇本敏幸、菅 敏幸：プローブ分子を志向したカテキン類の合成研究

第 39 回中化連秋季大会（名古屋）、講演要旨集、p.129、2008 年 11 月 9 日

52. 菅 敏幸：C-H 挿入反応を鍵とする生理活性天然物の合成

第 39 回中化連秋季大会（名古屋）、「有機合成特別講演会」招待講演、2008 年 11 月 9 日

53. 脇本敏幸、糠谷東雄、菅 敏幸、諏訪芳秀、石黒正路：ビール由来の $\alpha 1$ 受容体アンタゴニスト、Hordatine A の構造活性相関

第 27 回メディシナルケミストリーシンポジウム（大阪）、講演要旨集、p.218、

2008 年 11 月 27 日

54. 廣岡康男、新田真理子、吉田篤史、古田 巧、脇本敏幸、菅 敏幸：プローブ分子を志向したカテキン類の合成研究

第 27 回メディシナルケミストリーシンポジウム（大阪）、講演要旨集、p.238、

2008 年 11 月 27 日

55. 中山美穂、鈴木宏隆、多治見寛子、伊藤 剛、稲井 誠、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：新規フラボノイド合成法の開発に基づく chafuroside の効率的全合成

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.21、2008 年 12 月 6 日

56. 藤田悠介、小泉靖明、小林英樹、福山 透、古田 巧、脇本敏幸、菅 敏幸：decursivine の合成研究

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.22、2008 年 12 月 6 日

57. 安田吉徳、内田賢司、三村 啓、藤本哲平、福山 透、脇本敏幸、菅 敏幸：UCS1025A の合成研究

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.22、2008 年 12 月 6 日

58. 新田真理子、廣岡康男、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：カテキン類の立体選択的合成法の開発

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.23、2008 年 12 月 6 日

59. 小貫 仁、望月雅充、伊藤舞衣、脇本敏幸、古田 巧、菅 敏幸：人工リン脂質誘導体の固相合成法の開発

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.23、2008 年 12 月 6 日

60. 後藤敏裕、稲井 誠、古田 巧、脇本敏幸、菅 敏幸：Myriocin の全合成

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.24、2008 年 12 月 6 日

61. 原下 誠、赤星早江子、古田 巧、村田武士、岩田 想、菅 敏幸：V-ATPase 阻害剤の合成研究

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.24、2008 年 12 月 6 日

62. 脇本敏幸、宮田 翔、糠谷東雄、菅 敏幸、諏訪芳秀、石黒正路：ビール由来の α 1 受容体アンタゴニスト、Hordatine A の構造活性相関

平成 20 年度日本薬学会東海支部例会（静岡）、講演要旨集、p.30、2008 年 12 月 6 日

63. Takumi Furuta, Jyunya Yamamoto, Yuki Kitamura, Ayano Hashimoto, Isao Azumaya, Toshiyuki Kan, Takeo Kawabata: Efficient synthesis of azahelicenes through ligand-free Pd-catalyzed domino coupling reaction

UK/Japan Symposium on Asymmetric Catalysis（京都）講演要旨集、P-01、2008 年 12 月 9 日